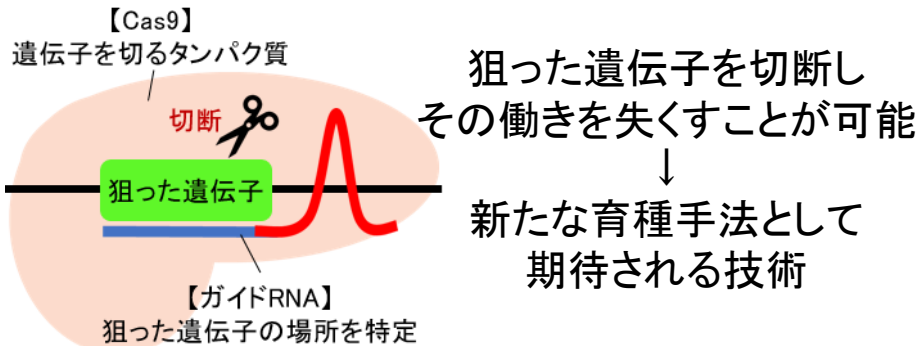


# 温州みかんのゲノム編集利用に向けた 培養技術の開発について①

温州みかんは、多胚性であることから従来の手法である交雑育種による品種開発が困難である。そのため、枝変わり等を利用しているが、新品種開発の効率が低くなっている。そこで、従来の手法よりも効率が良い新たな育種手法として、ゲノム編集技術の導入を検討している。しかし、現在のところゲノム編集に必要な培養技術が未確立であることから、温州みかんにおける培養技術の確立を試みる。

## ゲノム編集とは？

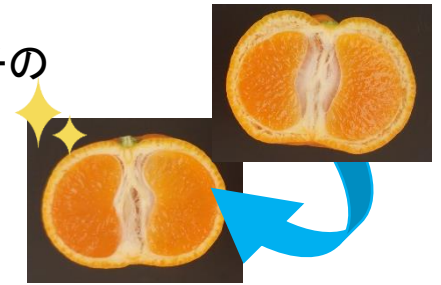


## 試験の最終目標例

浮皮の原因遺伝子の  
働きを抑制

↓

浮皮しない  
新品種を作成



## ゲノム編集に必要な培養技術の開発に向けた取り組み

